

「雪またじ」開始式が行われました ③

園芸科学科 シクラメン市を開催 ③



「歩道の雪またじ運動」に協力を
国道41号沿いにスコップを設置
国道沿いの歩道を雪かきしてもらえようようにスコップを設置する、高山国道事務所の「歩道の雪またじ運動」。その開会式が2日に中山中で開かれた。

今季は来年3月末まで、冬頭周辺から千島町までの国道41号沿い15か所に1〜4本のスコップを、地下道には凍結防止剤を設置する。

この運動は飛騨高山高の生徒が発案して始まり、今年で16年目。

この日は、両校の生徒計11人が出席。雪に見立てた発泡スチロールをス



コップですくい上げる、除雪を模した実演を行った(左上写真)。

中山中3年の鈴木心晴さんは「お年寄りや子供たちのためにも、どんどんやっつけていきたいです」と話した。

飛騨高山高が6日昼2時から同校の山田キャンパスで、生徒が育てたシクラメンなどの販売会を開く(左写真)。

園芸科学科の飛騨高山高2、3年生約10人が3月から、授業の一環で栽培。肥料を与えたり、病気を防ぐためにかれた葉を取り除いた

りと手塩に掛けた。赤、白、紫、桃色の900鉢のほか、クリスマスに合わせたポインセチア500鉢も用意する。

3年の雨澤美夢さんは「丁寧に、一生懸命作業したので、ぜひ手に取ってほしいです」と話した。シクラメンは900円、ポインセチアは700円。